

メカニックデザイナー

大河原邦男展

MECHANIC DESIGNER OKAWARA KUNIO EXHIBITION

盛岡市民文化ホール
展示ホール

11/7-12/23

午前10時～午後5時 (入場は午後4時30分まで) ※月曜休館 (ただし11/23は開館)

www.okawara-ten.com



いわて不動産 presents



メカニックデザイナー

大河原邦男展

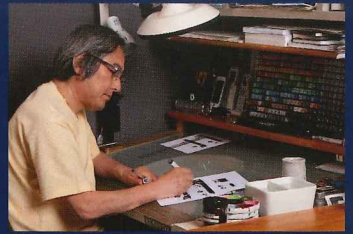
MECHANIC DESIGNER OKAWARA KUNIO EXHIBITION

盛岡市民文化ホール
展示ホール

11/7-12/23

www.okawara-ten.com

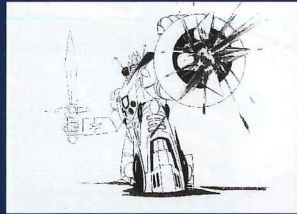
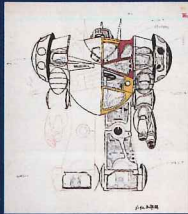
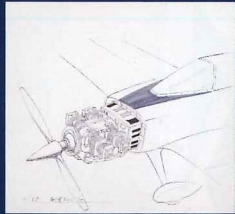
「タイムボカンシリーズ ヤッターマン」「機動戦士ガンダム」「装甲騎兵ボトムズ」…。誰もが
あこがれ夢中になったアニメに登場する数々のロボットデザインを手がけたのが、日本初のメ
カニックデザイナー、大河原邦男（おおかわら くにお）です。1972年に「科学忍者隊ガッチャ
マン」でデビューを果たした後、「タイムボカンシリーズ ヤッターマン」「機動戦士ガンダム」
「装甲騎兵ボトムズ」などの作品に次々と参加し、ロボットアニメにおける「メカニックデザ
イナー」という職業を世に確立しました。現在も第一線で活躍しながら、工業メーカーや地方
自治体との仕事を手がけるなど、活躍の幅を広げています。
本展では、大河原によるカラーイラストやアニメの設定資料などを一堂に展示し、大河原の
40余年に渡る全仕事を振り返ります。本邦初公開の貴重な資料や書き下ろし新作も加え、大
河原のデザインの神髄に迫ります。



第1章

メカニックデザイナーとしての黎明

1972年放送の「科学忍者隊ガッチャマン」でメカニ
ックデザイナーとしての第一歩を踏み出した大河原邦男。
彼は如何にしてメカニックデザインと出会い、その才能
を開花させたのでしょうか。第1章では当時の資料から若
き日の大河原の活動をご覧下さい。



「科学忍者隊ガッチャマン」(1972年)
© タツノコプロ

「ゴウパー5ゴードム」(1976年)
© タツノコプロ

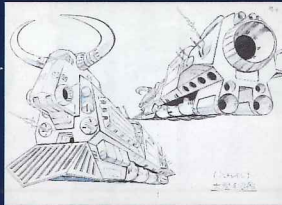
「合身戦艦メカダラーロボ」(1977年)
© ワコプロ

【展示作品】「科学忍者隊ガッチャマン」(1972年) / 「ゴウパー5ゴードム」(1976年) / 「タイムボカンシリーズ
ヤッターマン」(1977年) / 「合身戦艦メカダラーロボ」(1977年) / 「超電磁マシーン ホルテスV」(1977年)

第2章

リアルロボット大フィーバー

ロボットアニメの黄金期であった80年代。ガンダム、ダ
グラム、ボトムズなど、現実感・重厚感ある大河原邦男
のデザインは多くの少年達を虜にしました。第2章では
70年代後半から80年代の最も多くのメカを描いた時代
を振り返ります。



「機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい
宇宙」(1981年)
© 創通・サンライズ

「ドラえもん のび太の宇宙開拓史」(1980年)
© 藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK

「太陽の牙ダグラム」(1981年)
© サンライズ

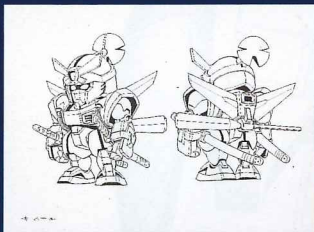
「戦え! 超ロボット生命体ト
ランスフォーマーV」(1988年)
© タカラトミー

【展示作品】「機動戦士ガンダム」(1979年) / 「太陽の牙ダグラム」(1981年) / 「装甲騎兵ボトムズ」(1983年) /
「蒼き流星 SPTレズナー」(1985年) / 「グリコおもちゃ」(1987年) / 「戦え! 超ロボット生命体 トランスフォーマーV」(1988年)

第3章

ヒーロー、コミック、そしてリアル

90年代に入ると、幼稚園児からハイエイジまで幅広い
ファンに向けたアニメーションが登場します。それに伴
い大河原邦男のデザインもバラエティ豊かなものとなっ
ていきました。第3章では多様なメカを生み出した90年
代以降の活躍を紹介します。



「からくり剣豪伝Mサシロード」(1990年)
© MIND・ひえろ

「太陽の勇者ファイバード」(1991年)
© サンライズ

「デフォルメガンダム」(1998年頃)
© 創通・サンライズ

【展示作品】「勇者エクスカイザー」(1990年) / 「からくり剣豪伝Mサシロード」(1990年) / 「太陽の勇者ファイバード」
(1991年) / 「機動戦士Vガンダム」(1993年) / 「新機動戦記ガンダムW」(1995年) / 「勇者王ガオガイガー」(1997年)

第4章

21世紀、永遠のスタンダードへ

デザイナー歴43年を迎えた2015年。現在も、大河原
邦男は第一線で活躍しています。最終章ではアニメに加
え、地方自治体のマスコットや自動車のデザインなど、
異業種にもそのフィールドを広げている大河原デザインの
“今”をお見せします。



「稲城なしのすけ」(2011年)
© K.Okawara・Jet Inoue

「吉谷機械製作所 次世代消防車 コンセプトイラスト」(2013年)

「ガンダムビルドファイターズ」(2014年)
© 創通・サンライズ・テレビ東京

【展示作品】「機動戦士ガンダム SEED」(2002年) / 「ヤッターマン」(2008年) / 「稲城なしのすけ」(2011年) / 「ガンダムビルド
ファイターズ」(2013年) / 「吉谷機械製作所 次世代消防車 コンセプトイラスト」(2013年) / 「ガンダムビルドファイターズ」(2014年)

大河原邦男展限定ガンプラ販売決定!!

展覧会限定ガンプラ「MG 1/100 ストライクフリーダムガンダム メカニ
ックデザイナー 大河原邦男展Ver.」(税込6,480円)が登場。大河原邦男氏のイ
ニシャルの様に輝く噴射を模したPET素材によるエフェクトパーツ「OKエフェ
クト」がこのキット専用で制作され付属。氏がこのキットのために手がけたデザ
イン案を元に、本Ver. オリジナルマーキングシールや成型色を再設定。ボックス
アート(外箱)は書き下ろしイラストを使用。大河原展でしか手に入らないファン
必須アイテムです。



© 創通・サンライズ

音声ガイド

大河原メカと関わりが深いお二人が本展をご案内します。

保志 総一郎さん

「機動戦士ガンダム SEED」/キラ・ヤマト役
「銀河漂流バイファム13」/ロディ・シャッフル役



小松 未可子さん

「ガンダムビルドファイターズ」/イオリ・セイ役
貸出価格：600円(税込)

インフォメーション

会期	2015年11月7日(土)~12月23日(水・祝) ※月曜休館(ただし11/23は開館)
会場	盛岡市民文化ホール・展示ホール (岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス4F 電話019-621-5100)
開館時間	午前10時~午後5時(入場は午後4時30分まで)
入場料	※障がい者手帳提示の方(付き添い1名まで)/10人以上の団体/65歳以上の方は当日、 前売り料金で入場できます。 ※リピーター割引あり。チケット半額の提示で前売り料金で入場できます。 ※一般・大学生の前売券は総柄4種販売します(コンビニ除く)。 ※未就学児は無料。
当日券	一般・大学生 1,200円 小・中・高生 800円 前売券 一般・大学生 1,000円 小・中・高生 500円
問い合わせ先	岩手日報社事業部 019-653-4121 ※日曜・祝日除く午前9時~午後5時 盛岡市民文化ホール 019-621-5100 ※祝日以外の月曜を除く午前9時~午後9時30分 公式HP: www.okawara-ten.com
券売所	【盛岡】 カワトク、アネックスカワトク、フェザン、マリオスインフォメーション、 プラザおでっ、東山堂書店、さわや書店、県民会館、盛岡市民文化ホール、 盛岡劇場、キャラホール、姫神ホール、岩手日報社 【花巻】 イトヨーカードー花巻店 【北上】 江釣子SCハル、さくらホール 【奥州】 奥州市文化会館、メイプル 【太田】 サン・リア 【二戸】 ニコア 【全県】 ローソンチケット(Lコード:24364)、セブン-イレブン(セブンチケット) ※岩手日報社では電話・ネット注文を受け付けます。チケットはこちらからも申し込みできます。↓



主催 盛岡市文化振興事業団、岩手日報社、めんこいテレビ
共催 盛岡市
特別協賛 いわて不動産株式会社
特別協力 アニメディア・ドット・コム、稲城市、エクスマキナ、江崎グリコ、ゴンズ、
サンライズ、シンエイ動画、スタジオひえろ、創通、タカラトミー、タツノコプロ、
円谷プロダクション、東映、名古屋鉄道、日本アニメーション、バンダイ、
バンダイナムコエンターテインメント、吉谷機械製作所、ワコプロ

ERA REAL ESTATE JAPAN

あなたの住まい探しを一緒に。

いわて不動産株式会社

盛岡市材木町2-26 (近三ビル1階) 019-622-2400

いわて不動産 検索